学校番号	１０３

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典A	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「改訂版　古典A　大鏡　源氏物語　諸家の文章」（第一学習社）						
副教材等	「課程の演習　新国語問題集　アシスト第 21 集 【古文編】」（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古文は語彙・文法・長文読解の作法・予備知識・修辞の理解という語学学習のすべての学習姿勢が必要な分野である。したがって、一年間の学習を通じて、学習の到達段階を「自己把握」しながら「既習事項」の自己検証・反復学習を行い、「発展的問題演習」を行うことに尽きる。4月から12月までの時期別の達成目標を自己作成し、学習時間を適正に配分することが肝要である。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、古典を読むのに必要な知識を身に付け、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

古典などに表れた思想や感情を読み取り、人事・自然全般に通底する文化一般に触れ、様々な時代の人々の生き方や自分の生き方について考察し、我が国の伝統と文化について理解を深める。また、古典特有の表現を味わい、古典語彙と現代語彙との連続性について考察しながら、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解する。伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料（古文）を読んで探究し、我が国の伝統と文化について理解を深めることを目標とする。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。			まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出 ・課題小テスト 等			・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出 ・課題小テスト ・定期考査 等	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・課題提出 ・課題小テスト ・定期考査 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	大鏡	『大鏡』 「時平と道真」 課題1『更級日記』 課題2『平家物語』 応用課題『大鏡』 連休中課題 課題3『花月草紙』 課題4『春雨物語』 課題5『住吉物語』	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『大鏡』の戯曲的構成を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査
	源氏物語	『源氏物語』 「物の怪の出現」 課題6『無名抄』 課題7『本朝女鑑』 応用課題『源氏物語』 考査後授業 課題8『松浦宮物語』 課題9『建礼門院右京大夫集』	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『源氏物語』の巻構成と人物関係を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査
二学期	平家物語	『平家物語』 祇王 課題10『石上私淑言』 課題11『広益俗説弁』 応用課題『堤中納言物語』 課題12『落窪物語』 課題13『恋路ゆかしき大将』	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『平家物語』の戯曲的構成を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査
	住吉物語	『住吉物語』 「継母のたばかり」 課題14『沙石集』 課題15『大鏡』 応用課題『とりかへばや物語』 考査後授業 課題　実践編	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、『住吉物語』の巻構成を理解する。人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞の正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習・課題小テスト・定期考査

三学期	物語演習	過去の入試問題の演習に取り組む	○	／	／	◎	○	a:重要語句の意味を確認する。和歌や漢詩の修辞技法について理解する。 d:文章構成の理解を深め、登場人物の心情把握を正確に行う。 e:助詞・助動詞のａ正確な理解を深める。敬語法の理解を深める。	a・d・e 授業態度・発問評価・指名音読・課題提出・課題演習

（注意）課題 1～14 は副読本の課題演習であり、副読本の課題 16～26 の演習は、授業で行う演習の進度に応じて進行順に実施する。

課題 16『大和物語』
課題 17『とりかへばや』
課題 18『十訓抄』
課題 19『今物語』
課題 20『風につれなき』
課題 21『しぐれ』
課題 22『和泉式部日記』
課題 23『発心集』
課題 24『徒然草』
課題 25『源氏物語』
課題 26『蜻蛉日記』

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。